

第2回教育委員会会議録

日 時	平成26年2月27日 開会14:00～閉会16:30
会 場	教育長室
出 席 者	山 田 律 子 委員長 佐々木 義 朗 委員 阿 部 弓 枝 委員 明 石 光 正 委員 宮 崎 肇 教育長
参 与	西 本 隆 史 教育部長 島 倉 弘 行 教育部次長 黒 川 淳 司 教育部次長 (学校指導担当) 小 田 賢 一 企画総務課長 加 賀 屋 勝 生涯学習課長 窪 田 聡 スポーツ課長 高 橋 理 埋蔵文化財センター長
書 記	堀田 企画総務課総務係長
議 題 及 び 議 事 の 概 要	別紙のとおり

議題及び会議の概要

委員長	<p>ただ今から、平成 26 年第 2 回教育委員会会議を開催いたします。 会議録の承認についてお願いします。</p>
総務係長	<p>前回、1 月 29 日に開催されました第 1 回教育委員会会議は議案が 1 件、議案第 1 号 千歳市社会教育委員設置条例の一部改正については原案通り議決されております。</p> <p>また、報告事項は、報告第 1 号 平成 26 年度教育予算について、報告第 2 号 ソチ冬季オリンピック出場選手について、報告第 3 号 「第 38 回ちとせホルメンコーレンマーチ」参加申込状況等について、報告第 4 号 千歳市スポーツセンターにおけるネーミングライツ・スポンサーの公募について、以上 4 件でありました。</p>
委員長	<p>会議録承認の件よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>一同了承</p>
委員長	<p>教育長から報告をお願いいたします。</p>
教育長	<p>2 月定例校長会でお話ししました内容について報告いたします。</p> <p>1 点目は、平成 26 年度当初人事であります。特徴的なところといたしまして、昨年からは管内の校長が他管の教育局の指導監となっており引き続き実施されますことと、教頭職のなり手が少ない状況があります。</p> <p>2 点目は、平成 26 年度の教育予算ですが、前回の教育委員会会議でご説明しましたので詳細は省略させていただきます。</p> <p>総額 33 億 5 千万円で対前年度比 1 億 6 千万円の減ですが、スポーツセンターリニューアル事業費 5 億 8 千万円を除くと実質 4 億 1 千万円の増となります。さらに、25 年度補正予算で前倒して実施する事業を加えると 5 億 7 千万円の増となります。</p> <p>その他、第 11 回目となるサイエンス会議が 2 月 22 日に千歳科学技術大学で行われました。今年からは大きなスクリーンにパワーポイント等で映し出して行いました。非常に立派な発表をしており、毎年プレゼンテーション能力が向上していると感じました。</p> <p>私からの報告は以上であります。</p>
委員長	<p>教頭のなり手が少ないということは校長のなり手も少なくなると思われ ますが、東京都のように民間から校長を雇うということもいづれあるかもし れませんか。</p>

教育長	<p>教頭のなり手が少ないということについては、責任に見合った報酬になっていないのではないかという意見もあります。</p>
委員長	<p>教育長からの報告につきましてお伺いしたいことなどございませんか。それでは次に第1号議案について事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育部次長	<p>議案第1号、千歳市議会第1回定例会教育行政執行方針及び教育行政報告についてご説明申し上げます。</p> <p>提案理由であります。平成26年第1回千歳市議会定例会に、平成26年度教育行政執行方針及び教育行政の諸般について報告するため、本案を提出するものであります。</p> <p>それでは、教育行政執行方針を読み上げます。</p> <p>～読み上げにより説明～</p>
委員長	<p>ご質問等ございますか。</p>
明石委員	<p>非常に多くの取組が記載されておりますが、全て執行できるものでしょうか。</p>
委員長	<p>この度の執行方針は、取り組むべきことをはっきりと具体的に記載されていると感じました。</p>
教育長	<p>26年度の予算と連動しておりますので、記載のあるものは全て実施いたします。</p>
明石委員	<p>道徳教育はどのように取り組むのですか。</p>
教育長	<p>今まで使っている心のノートという副教材が、来年度からは私たちの教育というものに変わります。これは国が作成したものです。</p> <p>教科化の話が出ておりますが、いずれにしてもしっかりと取り組んでいかなければならないものです。</p> <p>他に質問はございませんか。</p> <p>それでは、引き続き教育行政報告の説明をお願いします。</p>
企画総務課長	<p>それでは、教育行政報告を読み上げます。</p> <p>～読み上げにより説明～</p>

委員長	<p>ご質問等ございますか。</p> <p>この後、第2号議案で学校教育基本計画についてご説明があると思いますが、この基本計画は昨年度から議論をさせていただきましたけれども、この基本計画の件について教育行政報告に記載すべきものではないでしょうか。</p>
教育長	<p>ご指摘のとおりであります。基本計画の件を行政報告に記載いたします。</p>
委員長	<p>その他、よろしいでしょうか。</p> <p>第1号議案についてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>一同了承（原案可決）</p>
委員長	<p>次に議案第2号についてお願いします。</p>
企画総務課長	<p>議案第2号、千歳市学校教育基本計画についてであります。提案理由は、教育基本法第17条第2項に基づき、千歳市における教育行政の基本的な方向性や具体的な取組を示した千歳市学校教育基本計画を策定するため、本案を提出するものであります。</p> <p>本計画の策定経過についてですが、昨年10月28日の第3回策定会議の後、パブリックコメントを実施する段階の素案について、11月19日に委員会の勉強会を実施したのち、本年1月31日に開催した第4回策定会議で案として教育委員会会議に諮ることを了承していただいております。</p> <p>なお、本計画が、今後目指すべき教育の基本的な方向性や取組など示すため、基本理念を掲げ、3つの基本目標、11の基本方向、30の施策項目で構成するという、全体のフレームに変更はありません。</p> <p>そのため、今回の説明は、勉強会以降のパブリックコメント結果を含めた変更点等について、その主なものを確認することで替えたいと思います。</p> <p>まず、パブリックコメントの結果についてであります。実施期間は、平成25年11月26日から12月25日までの1か月間であり、寄せられた意見は、2名から4件でありました。</p> <p>その意見の概要と回答、及び意見の取扱について簡単に述べます。</p> <p>1件目は、幼少連携の促進に保育所を入れて幼保小連携の促進にしてほしいというものです。市といたしましては、実際に施策項目の現状と課題に記述していることから、保育所を加えた案に修正しました。</p> <p>2件目は、放課後の児童の把握も教育委員会の管轄ではないかというご意見であります。市といたしましては、放課後対策は主として福祉政策の一環として事業を行っており、放課後は学校の教育活動に含まれないというという認識であり、本学校教育基本計画には直接関係しないが、学童クラブとの</p>

情報交換などの連携はしていくとして、意見として伺うものとしております。

3 件目は、図書館司書を学校に常駐にしてほしいというものです。市といたしましては、今年度の 2 名の派遣体制を来年度以降 6 名に拡充するということ。さらに基本計画では平成 32 年度までの目標として 1 校に 2 名の配置としていると回答しています。このご意見の取扱ですが、現段階では学校規模や支援内容等があり、一律すべての学校に常駐とはならないのではないかとということから、参考意見としました。

4 点目は、フッ素洗口の導入について、安全性に対する賛否両論の意見を踏まえて検討してほしいというものです。市としては、北海道の教育推進計画にそって取り組みますが、安全性や導入に当たっては、保護者の理解を得るよう専門家と連携した取組を行い、よく学校と協議して進めるという回答としています。このご意見についても、実施に向けた今後の参考意見としました。

次に、本計画案の修正箇所についてですが、主な修正としては、最新の調査結果の反映、現状の説明において、学力テストなどの全国平均との比較する記述についてグラフを挿入してわかりやすくしたことのほか、字句の整理と注釈の追加であります。

本文の千歳市の教育の現状では、体力・運動能力、運動習慣の調査結果を最近公表された平成 25 年度の最新数値に変更し、グラフを追加しました。

次に、学校の現状の教員で、自己研さんに関する記述を追加しました。

本文の学校施設では、非構造部材の耐震化や大規模改修の必要性について具体的な記述を追加しました。

次に、施策項目 2 の主な取組に、26 年度の新規事業であるハイパーQU 検査の実施による活用を加え、具体的な内容と目標指標を追加しております。

また、施策項目 4 の現状と課題に最近の特徴として「ネットトラブル」の記述を加え、施策の概要には、現在策定中の「千歳市いじめ防止基本方針」を施策の基本として加え、主な取組にネットトラブル等に対応する「情報モラル教育の推進」と、学校が個別に「いじめ防止基本方針」を策定し取り組むことを加えました。

次に、施策項目 14 の現状と課題と施策の概要に、教員のコンプライアンスに関する記述と注釈を追加し、研修会への参加に関する目標指標を追加しました。

次に、施策項目 15 では、施策の概要で、小中学校、幼稚園、高校を含めた異なる学校種間の連携に関する記述を具体的に記述し、主な取組に、家庭学習の手引きの作成、幼稚園・保育所との情報交換の機会を充実させることを、具体的に追加しました。

次に、施策項目 17 では、現状と課題に、学校における ICT に関する具体

	<p>的な記述を追加し、主な取組に I C T機器を十分に活用できるよう教員の研修体制の充実と、よりわかりやすい授業への活用に関する取組を追加しました。</p> <p>次に、施策項目 21 では、学力向上に関する各種取組の全体的な目標指標として全国学力・学習状況調査の全国平均と比較した正答率の割合を追加しました。</p> <p>また、施策項目 24 ではパブリックコメントでもありましたように、主な取組に学校図書館司書の配置体制の充実を追加し、目標指標を変更しております。</p> <p>次に、施策項目 25 では、主な取組で従前のグローバルスクール活動事業を、平成 26 年度から千歳市アクティブスクール事業に拡充することによる修正です。</p> <p>また、施策項目 27 では、目標指標において、給食における地場産品利用の割合を 50%から 40%に修正しています。これは、野菜に関して年間の半分は収穫がないということ、入札による購入のため産地指定の難しさがあるなど現実的な課題によるものです。</p> <p>施策項目 28 では、パブリックコメントでもありましたが、フッ素洗口の普及推進に関する取組内容の記述を、現段階では小学校を対象とし修正しました。それに伴い目標指標の内容を修正しました。</p> <p>以上、主な修正箇所の確認とともに本計画案に関する説明を終わります。</p> <p>また、今後のスケジュールですが、本日決定いただいた後、印刷発注までの間にさらに字句の整理を行い、3 月末の納品・配布を予定しております。</p>
委員長	<p>他にご質問等ございませんか。</p> <p>第 2 号議案については、議案のとおりとしてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>一同了承（原案可決）</p>
委員長	<p>次に、報告の第 1 号をお願いいたします。</p>
企画総務課長	<p>報告第 1 号、平成 25 年度補正予算についてであります。</p> <p>まず初めに、奨学基金への寄附についてであります。今回補正分といたしまして、合計 13 件、2,592 千円を補正するものであります。</p> <p>これによりまして、平成 25 年度寄附採納額は 5,732,649 円となります。その結果、補正後の基金残高は 69,207,149 円となります。</p> <p>続きまして、歳出予算ですが、25 年度の事業費の確定による不用額と入札額の確定による減額補正が 6 件、経済対策といたしまして 26 年度予定の事業を 25 年度に前倒して実施するために増額補正するものが 7 件。</p>

<p>委員長</p>	<p>債務負担の追加として、消費税が平成 26 年 4 月から 5%から 8%に引き上げられることに伴いまして、委託料や指定管理料の債務負担行為額に変更が生じることから 11 件の事業について債務負担を追加するものであります。</p> <p>次に、債務負担の変更であります。物品購入契約や委託料、賃貸借契約の 6 件について、契約額が確定したことによりまして債務負担額の減額について補正するものであります。</p> <p>教育委員会に係る補正予算については以上であります。</p> <p>ご質問等よろしいでしょうか。</p> <p>では、次に報告第 2 号をお願いいたします。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>報告第 2 号、平成 26 年度公益財団法人千歳青少年教育財団の事業計画及び予算についてご説明申し上げます。</p> <p>はじめに、事業計画書についてご説明いたします。公益目的事業であります教育事業のうち学習講座開設事業の千歳サケのふるさと館学習事業では、小中学生を対象としたアクアリウム・ナイトツアーやサーモンツアー 早起きはサーモンの得などの宿泊学習、休日、夏休み、冬休みなどに小学生や親子を対象にした体験学習などの事業を実施いたします。</p> <p>ジュニア、シニアリーダーの活動事業では、地域における、子ども会活動の活性化を図るための研修会、交流会などの実施、その他に、自然教室や体験学習などの事業を実施いたします。</p> <p>次に、社会教育関連事業についてであります。千歳市子ども会育成連合会との共催事業として、各事業を実施する他、青少年教育事業スナップ写真展を開催いたします。</p> <p>次に、教育機関支援事業につきましては、小中学校の総合的な学習や職業体験への協力、地元小学校と岡山市の小学校との交流事業への協力を行なうとともに、科学の祭典千歳大会など各種生涯学習関連への参加、出展を実施してまいります。</p> <p>次に水族館管理運営事業についてご説明申し上げます。千歳サケのふるさと館管理運営事業につきましては、千歳市における青少年の育成をはじめ、社会教育の普及振興を図るための必要な事業の一つである水族館の維持管理運営を図るとともに、入館者の拡大推進に努めます。平成 26 年度の営業期間は、4 月 1 日から 11 月 30 日までの 8 か月間を予定しており、12 月 1 日からは千歳サケのふるさと館リニューアル工事のため、閉館を予定しております。</p> <p>次に、常設展示として、水槽展示では、魚類だけでなく、水生昆虫や鳥類のカイツブリなど、河川生態系を構成する生物種を幅広く展示するとともに</p>

に、イの大型マルチビジョンによるサケの生態などの紹介、ウの情報学習展示とふれあい水槽では、タッチプールや渓流水槽への餌やりガチャガチャなど、魚類への親しみを感じていただき、エの千歳川水中観察室では、大型モニターを使って、異なる季節の千歳川を紹介し、リピーターの獲得に取り組んでまいります。オの多目的ホールでは、各種機器や図書コーナーなどを設置し、体験学習の場などを提供いたします。

企画展示については、様々な生物や環境をテーマとして実施し、新たな試みも取り入れ、時節に即した企画展や季節ごとに異なる生育ステージの変化を展示することとしております。

各種体験学習及びイベントですが、水族館に興味を持っていただくとともに、会員間の交流を図るため、7項目を実施いたします。

入館者の拡大推進につきましては、道の駅リニューアル工事に伴う駐車場使用面積の縮小や千歳サケのふるさと館リニューアル工事による閉館などにより入館者数の減少が予想されることから、平成26年度の入館者数の目標を5万2千人としております。

この目標達成のために6項目を実施し、入館者の増加に繋げていきたいと考えております。

サケのふるさと村教授会との連携につきましては、引き続き、連携強化に努めてまいります。

サポーター会員及び法人賛助会員の募集につきましては、リニューアル工事の閉館期間がありますことから、平成26年度サポーター会員の目標を2,200人とし、企業サポーターとしての目標を28口としております。

次に、千歳サケのふるさと館再整備事業につきましては、水の流れや魚の動きを強調して見せる水塊展示を取り入れた支笏湖水槽の新設や世界の淡水魚を展示するなど魅力ある水族館づくりを目指し、平成27年8月オープンに向けリニューアル工事を実施いたします。

次に、情報提供活動につきましては、各種媒体を積極的に活用することとしております。

収益事業の水族館における施設賃貸及び飲食物販売事業につきましては、千歳サケのふるさと館、館内の売店、2階喫茶コーナー等の飲食物販売の業務委託及びログハウスの施設賃貸を行います。また、千歳市サーモンパーク内道の駅管理業務受託事業につきましては、道の駅リニューアル工事による供用休止により受託事業が無い予定であります。

次に、平成26年度収支予算書と資金計画書についてご説明いたします。最初に、公益目的事業会計からご説明させていただきます。

公益目的事業会計は教育事業費と水族館管理運営事業費に係るものであり、「事業活動収支の部」から説明いたします。

主な科目として、事業収入の水族館管理運営事業収入につきましては、前

年度比 2300 万円減額の 2200 万円を計上しています。減額の理由は、開館期間が 4 月から 11 月までの 8 か月間であること。また、インディアン水車祭りなどのイベント開催中止、道の駅再整備による道の駅閉鎖や一部駐車場閉鎖などによる影響を考慮した結果によるものであります。

会費収入につきましても、前年比 282 万円減額の 188 万円としております。

補助金等収入の水族館管理運営事業補助金収入につきましては、水族館収入の減少により、更なる経費見直しと予算カットを実施しましたが、前年比 1547 万 6 千円増額の 6451 万 8 千円を計上しています。

水族館再整備事業補助金収入につきましては、リニューアル工事費として、6 千万円を計上しております。

雑収入につきましては、開館期間 8 か月での館内各種体験料の減少から、前年比 58 万 2 千円減額の 121 万 1 千円を計上しております。

これらの結果、下段の、事業活動収入計は、予算額 1 億 8 千 76 万 4 千円となり、前年度比 924 万 3 千円の増となっております。

次に事業活動支出についてご説明いたします。

事業費支出、教育事業費支出につきましては、予算額 2 千 21 万 5 千円で前年度比 16 万 3 千円の減となっております。

内訳の一番下の行、退職給付費用につきましては、各会計で投資活動収支の部の支出に移行したことから予算額が 0 円となっております。

次に、水族館管理運営事業費支出につきましては、予算額 9503 万 9 千円で、対前年比 4942 万 4 千円の減となっております。主な内訳は、給料手当支出が受付退職職員を不補充としたことで 362 万 2 千円の減、代わりに臨時職員での対応としたことから賃金支出が 120 万円の増、通信運搬費支出は、リニューアルオープン後の修学旅行招致 PR として全国の高等学校へのダイレクトメールなどによる 80 万 2 千円の増、修繕費支出では、リニューアル工事が始まることから通常修繕の削減により、113 万 9 千円の減となっております。

リニューアル工事に伴う閉館期間 4 か月の支出削減により、光熱水費支出が、133 万 1 千円の減、使用料及び賃借料支出が 216 万の減、宣伝広告費支出が 119 万円の減、イベント費支出が 177 万 3 千円の減となっております。委託料支出では、主にさけのふるさと館リニューアル工事の設計委託料が終了することにより減額となっております。

これらの結果、事業活動支出は、予算額合計 1 億 1525 万 4 千円で前年度比 4958 万 7 千円の減となり、事業活動収支差額では 6551 万円で、前年度比 5883 万円の増となっております。

次に投資活動収支の部について説明いたします。

投資活動収入の特定資産取崩収入の減価償却積立資産取り崩し収入につきましては、空調設備更新工事代として 180 万円、リニューアル工事前払い

<p>委員長</p>	<p>金として4千万円の合計4千180万円を計上しております。</p> <p>投資活動支出の特定資産取得支出の退職給付引当資産取得支出は、先ほど説明しましたとおり、事業活動支出から移行したことから、72万2千円の増となっております。固定資産取得支出につきましては、リニューアル工事、前払い金として建設仮勘定取得支出という科目を新設し、千歳市補助金のうち5500万円と減価償却積立資金取り崩し収入から4千万円の合わせて9500万円を計上しております。</p> <p>これらの結果、投資活動支出計は、1億752万2千円となり、前年度比9千752万2千円の増となり、投資活動収支差額は、マイナス6572万2千円で前年度比5572万2千円の増となっております。</p> <p>公益目的事業会計の当期収支差額は、マイナス21万2千円となっております。</p> <p>続きまして、収益事業等会計について説明いたします。収益事業等会計は、施設賃貸及び販売事業と道の駅管理業務事業に係るものでありますが、道の駅管理業務事業は、道の駅リニューアル工事による供用中止により、受託事業が見込めないため収支を0としております。</p> <p>次に、施設賃貸及び販売事業についてですが、事業活動収入の負担金収入は、予算額13万5千円で、前年比38万6千円の減、雑収入は、98万4千円で前年比268万3千円の減となっております。その理由は、ログハウスを除く公園内店舗からの収入がなくなることから、減額となっております。</p> <p>事業活動支出の事業費支出の施設賃貸及び販売事業費支出は、90万7千円で、対前年比3万9千円の増となっております。</p> <p>これらの結果、事業活動収入計111万9千円に対して、事業活動支出計90万7千円となり、当期収支差額は21万2千円となり、前年度比310万8千円の減となります。</p> <p>続きまして、法人会計について説明いたします。法人会計では、大きな増減はなく前年度なみの予算となっております。その結果、事業活動収支計の865万円に対して、事業活動支出計859万6千円となり、事業活動収支差額は、5万4千円となります。さらに投資活動支出、退職給付引当資産取得支出5万4千円を差し引き、その結果、当期収支差額は0円となります。</p> <p>資金計画書について説明いたします。勘定科目ごとのお金の動きを表したものです。受入資金の部が、収入としての入金予定の金額を、支払資金の部が、支払い予定の金額を表します。予算につきましては、収入と支出が同額の予算編成をしておりますので、差引は0円となります。</p> <p>平成26年度事業計画、収支予算の報告は以上でございます。</p> <p>報告第2号についてご質問等ございますか。 よろしいでしょうか。</p>
------------	---

<p>スポーツ課長</p>	<p>次に報告第 3 号をお願いいたします。</p> <p>報告第 3 号、第 38 回ちとせホルメンコーレンマーチ、千歳市民歩くスキーの集いの結果についてご報告申し上げます。</p> <p>2 月 11 日、駐日ノルウェー大使館の一等書記官をお迎えし、開催をいたしました。当日は、積雪のコンディションにも恵まれまして、盛会のうちに無事終了することができました。</p> <p>参加者状況は申し込みは 415 名、出走は 378 名で完走が 377 名でありました。</p> <p>地域別の参加申込者では、今回は千歳以外の方の申し込みが多い傾向にありました。</p> <p>以上であります。</p>
<p>委員長</p>	<p>コースコンディションはいかがだったでしょうか。</p>
<p>スポーツ課長</p>	<p>1 月下旬までは積雪が少ない状況であり、一部、土が露出しているような状況でありましたが、2 月に入りましてから積雪がありましたので、丁度良いコンディションとなりました。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にご質問等ございますか。</p> <p>それでは、次に報告第 4 号をお願いいたします。</p>
<p>埋蔵文化財センター長</p>	<p>報告第 4 号、国指定史跡キウス周堤墓群の世界文化遺産登録と整備に向けた今後の取組の予定についてご報告申し上げます。</p> <p>世界文化遺産登録のスケジュールであります。当初は、平成 24 年度に保存管理計画策定しまして、平成 25 年度に国からユネスコへの推薦を受けまして、平成 27 年度に世界文化遺産登録を目指すというものでありましたが、変更後は最短の場合で平成 25 から 26 年度 にかけて保存管理計画を策定し、平成 28 年度の世界文化遺産登録を目指すスケジュールに変更しております。</p> <p>平成 25 年度の推薦が見送られたことによりまして 1 年遅れて登録を目指すスケジュールとしたものであります。</p> <p>スケジュール変更の要因といたしましては、保存管理計画策定方法についての文化庁からの指導があり、計画策定が遅れているということ。また、文化審議会による平成 25 年度のユネスコ推薦見送りが決定された経過によるものであります。</p> <p>次に公開活用のための整備のスケジュールであります。当初は平成 24 年度に保存管理計をつくり、平成 26 年度までに計画を策定し、27 年度か</p>

	<p>ら整備を開始して 28 年度に完成する予定でありました。</p> <p>変更後では最短の場合で、平成 25 年度から 26 年度にかけまして 保存管理計画策定し、平成 27 年度から 28 年度にかけて基本計画、整備計画を策定し、平成 29 年度と 30 年度で史跡、駐車場、施設の整備を完成する予定であります。</p> <p>スケジュール変更の要因ではありますが、国指定史跡整備事業について、保存管理計画策定方法についての文化庁からの指導があり、計画策定が遅れていること、また、文化庁から、整備にあたり、周辺の試掘調査を優先することと、国道 337 号線に対する市の考え方を整理するよう指導があり、調査内容や範囲、期間を再考するとともに、国道の問題は建設部と協議中であります。</p> <p>報告は以上であります。</p> <p>もともと、保存管理計画をつくって整備を行うという計画があったのですが、世界遺産の話がでてきましたことにより、事業のスピードを速めるきっかけとなりました。</p>
教育長	
阿部委員	<p>推薦を受けなければ看板や歩道等の施設整備はできないのですか。</p>
教育長	<p>施設整備の時期については、世界遺産ときりはなして考えていただいて結構です。ただし、保存管理計画がなければ整備もできないということになります。</p>
委員長	<p>報告第 4 号についてよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。</p>